

は園芸人生
はじめよう!

令和8年度生募集

秋田市新規 就農研修

秋田市園芸振興センターでは、園芸作物（野菜・花き）の担い手を育成する新規就農研修を実施しています。

追加募集

令和7年

12/19金



令和8年

2/13金

研修
期間

2年間

令和8年4月
から令和10年
3月まで

募集
定員

10名

受講料

無料

テキスト代、傷害保
険料等の費用につ
いては自己負担とな
ります。

Point1 実践的な研修

多品目の野菜・花きについて実践的な栽培
技術研修を実施。2年目に行う模擬経営で
さらに技術が高められます。

Point2 奨励金制度あり

研修期間中は、国の資金または県・市の奨
励金を受給できるので、安心して研修が受
けられます。

Point3 充実のカリキュラム

農家実習、先進地視察、農業簿記、営農計画
書作成など、様々なカリキュラムを通じて
就農の準備が整えられます。

問い合わせ先・研修先

秋田市園芸振興センター

〒010-1423 秋田市仁井田字小中島111番地1

電話:018-838-0278 FAX:018-838-0279

E-mail:ro-agpc@city.akita.lg.jp



詳細はこちら

令和8年度生募集

秋田市新規 就農研修 研修概要

応募資格

次に掲げる要件を全て満たすかた

- (1) 野菜・花きの経営を志し、研修の修了後1年以内に本市において独立・自営就農又は親元就農、雇用就農が確実に見込まれるかた
- (2) 就農予定時の年齢が原則50歳未満のかた
- (3) 普通自動車運転免許を取得又は研修開始時まで取得見込みのかた

研修期間

令和8年 令和10年
4月から 3月まで

2年間

資金面のサポート

当センターは国の資金(年額150万円)を受給できる研修機関となっています。

また、国の資金の受給対象外となった場合は、県・市の奨励金(年額90万円)を受給できます。

研修生の コメント



木村 蒼哉さん

農業に強い関心があり、地元秋田市で就農したいと考えて参加しました。農業未経験ですが、実践型の研修で作物の育て方や農業経営の工夫などについて丁寧に教えてもらい、日々充実した研修をしています。



チリノス 聡子さん

東京から秋田に移住し、農業を業にするため夫婦で研修に参加しました。野菜の収穫から出荷までの作業を初めて体験し、改めて農業の大変さとやりがいを感じています。これから色々な野菜や花きを勉強していくのが楽しみです。

主な研修内容

	実習	座学、その他
共通	<ul style="list-style-type: none">●基礎実習(通年) ほ場での実習を通し、園芸振興センター等のスタッフ指導のもと、野菜・花きの基礎的な栽培技術を習得●農業機械研修 基礎的な操作技術やメンテナンス技術を習得	<ul style="list-style-type: none">●栽培の基礎知識 県普及指導員等を講師に、野菜・花きの栽培基礎を学ぶ●農業経営 大学教員などを講師に、就農に向けた経営・会計マネジメントについて学び事業計画を作成する●営農計画書の作成
1年目	<ul style="list-style-type: none">●農家実習 市内の農家や農業法人等での実習	<ul style="list-style-type: none">●農業基礎・農業簿記講座 秋田県農業研修センターが主催する講座で、農業技術の基礎と農業簿記について学ぶ●プロジェクト研修(模擬経営) 2年目に取り組むプロジェクト研修の実施計画を作成
2年目	<ul style="list-style-type: none">●プロジェクト研修 実践を通して、応用的な知識や技能を習得	<ul style="list-style-type: none">●青年等就農計画の作成 認定新規就農者の認定を受ける

研修費用等

- (1) 研修受講は無料ですが、テキスト代、資格試験受験料、作業服等の費用については自己負担となります。
- (2) 研修で使用するノートパソコンを開講式までに準備してください。
- (3) 指定する傷害保険への加入をお願いします(保険料は自己負担)。
- (4) 研修時間は、原則平日の午前8時30分から午後5時15分まで(土日・祝日・年末年始を除く)。ただし、休日でも作物の生育状況により栽培管理のため出席しなければならない場合があります。



応募選考方法

選 考 令和8年2月下旬

結果通知 令和8年3月上旬

選考会場 秋田市園芸振興センター

選考方法 書類審査、面接試験

結果通知 応募者全員に郵送にて通知します。

